

未来社会創造事業 探索加速型探索研究

事後評価結果

1. 領域

「持続可能な社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

労働人口減少を克服する“社会活動寿命”の延伸と人の生産性を高める「知」の拡張の実現

3. 研究開発課題名

学習アナリティクス基盤の拡張による多世代共創及び社会活動支援

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

木實 新一（九州大学 基幹教育院 教授）

5. 評価結果

本研究開発課題では、多様な人々や学習空間の特性に対応して、新たなスキルを効率よく習得することに貢献する学習支援 ICT の開発による課題解決を目指した。「マルチモーダルなセンシング技術とデータ解析技術を拡張し、学習アナリティクスシステムと統合すること」への挑戦的な取組みが行われ、個別のアプローチは進展しつつあると評価した。

今後は、学習アナリティクスシステムを活用・拡張して学習促進と教育改善にフィードバックする「知の拡張」のループの実現可能性、ならびに高齢者を含む多様な学習者・学習空間への汎用性検討などについて、さらなる基盤研究の進展と、個別アプローチ間の統合が期待される。

以上